



# ほけんだより 9月号

令和6年9月  
認定こども園  
函館石川保育園

夏が過ぎ、ひと回り大きく、たくましくなった子どもたち。まだまだ続く暑さの中で、元気にお散歩や外遊びを楽しんでいます。夏の疲れが出てくるころです。しっかり睡眠をとってくださいね。

さて、玄関掲示板でお知らせしているとおり、今現在保育園では、手足口病とヘルパンギーナが大流行しています。掲示板で保護者の皆様にお知らせしておりますとおり、感染症によって症状が違います。

「あれ？いつもと違うな」「食欲がないな」「いつもない発疹が出てるな」と思いましたら、すぐに病院の受診をお願い致します。その際には、保育園で感染症がでていることを伝えてくださいね。

保育園は集団生活の場です。感染症によって、感染力も違いますし、療養の期間が変わっております。感染症への対応は、園のしおりにも載っておりますが、手足口病とヘルパンギーナは下記の療養期間を参考に、お子様の体調を見ながら登園していただきたいと思っております。

気をつけたい

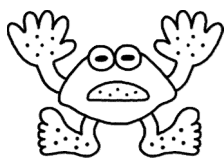
## 感染症

### 手足口病

口の中や手足などに水疱性の発疹が出ます。かかりやすいのは乳幼児。有効なワクチンはなく、飛沫感染や

接触感染するので、園でも広がりやすい病気です。ほとんどの場合、高熱が出ることもなく数日で治りますが、まれに重い合併症が出ることもありますので、注意してあげてください。

保育園としては、病院で診断を受けた日を1日目とし3日間のお休みをお願いしております。



気をつけたい

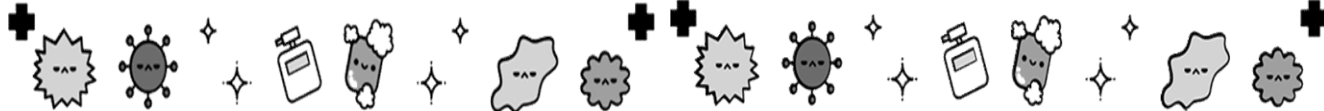
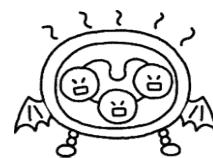
## 感染症

### ヘルパンギーナ

夏、乳幼児が多く罹患する感染症。39~40℃の高熱が突然出て、上顎や喉の奥に水疱

ができます。熱が出るので水分を飲ませたいのですが、喉が痛くなり嫌がる子どもも。少しずついいので必ず水分補給をしましょう。多くの場合は2~4日で回復します。

保育園としては、発熱が出た日を1日目とし、3日間のお休みをお願いしております。



気温差に気を付けて！！

元気な子どもたちも、秋は体調を崩しがち。昼間は暑いのに気温が急に下がったり、空気が乾燥していたと思えばジメジメと長雨が降りたりするのも原因です。背中にしっとり汗をかいていませんか？気温差による体調の変化をよく観察してあげましょう。

